

公益財団法人 8020 推進財団

平成 23 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名： 歯周病と糖尿病の係わりに関する普及啓発事業
継続事業 (2年目)

2. 申請者名： 社団法人 東京都歯科医師会
会長 浅野 紀元

3. 実施組織： 社団法人 東京都歯科医師会
成人保健医療常任委員会

4. 事業の概要：

8020 の実現を目指した健康づくり実践のため、生涯にわたる歯と口腔の健康保持・増進を図る。
特に成人期における歯周疾患の早期発見と、歯周病が引き起こす全身疾患（糖尿病等）へのリスクを広く都民に啓発するとともに、会員および他職種への医療連携のひとつとしての認識の普及啓発も図る。

なお、「歯周病と糖尿病の関わり」については、歯科医師への知識の研鑽を図ると共に、東京都医師会の協力を得ながら、多職種を中心とした講師の下、会員診療所の患者や地域住民への周知を行い、さらに、都民を交えた講演会を実施し、口腔と全身の相互の関係について認知度を高める取組を行う。

5. 事業の内容：

昨年度（平成 22 年度）からの継続事業（3 ヶ年計画-2 年目）として、口腔と全身の相互関係について認知度を高める取り組みを行っており、本会で作成したリーフレット“お口のケアが全身をまもる—歯周病と糖尿病の不思議な関係—”を活用し、城北（豊島区歯科医師会）、多摩（八南歯科医師会）ブロックにて歯科医師向け講習会を実施した。（地区歯科医師会を 6 ブロック（中央・江東・城西・城南・城北・多摩）に分け、3 年間の継続事業として 1 年間で 2 ブロックごとの講習会を行っている。）

講師には歯科医師、他職種として医師、管理栄養士を招き、それぞれの立場から『歯周病と糖尿病の関係』についての講演をいただいた。

なお、今年度（平成 23 年度）は更なる地域における医科歯科連携の重要性を鑑み、『今後の地域医療連携を目指して』と題した医療関係者向けの糖尿病予防フォーラムを実施した。

6. 実施後の評価（今後の課題）：

『糖尿病と歯周病』の関係について、医科・歯科の立場から更なる「食」知識を習得することは、自身や都民（患者）のためにも重要であり、“地域医療連携”の一助として会員、ひいては都民（患者）のためになるものと考え、来年度の本事業に反映させていきたいと考える。